

## SIT+KU+AIT+SUT+NUCE gPBL: 自然災害に対する地圏の防災・減災技術に関するワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2022年08月26日 ~2022年09月03日	日本	カセサート大学 アジア工科大学 スラナリー工科大学 ハノイ土木大大学	・土木工学科、社会基盤学 専攻 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生40名、学生バイト10名、教員1名 (カセサート大学) 学生15名、教員3名、職員4名 (アジア工科大学) 学生18名、教員1名、職員6名 (スラナリー工科大学) 学生9名、職員2名 (ハノイ土木大大学) 学生15名	稲積 真哉(土木工学科)



図1 集合写真

本学豊洲キャンパスにおいて、“日本、タイおよびベトナムに共通する自然災害(豪雨災害等)から社会を守る防災・減災技術”をテーマとしたグローバルPBLを実施した。

当該グローバルPBLでは、本学(SIT)から土木工学科を中心に40名、カセサート大学から15名、アジア工科大学から18名、ならびにスラナリー工科大学から9名、ならびにハノイ土木大大学から15名の計97名の土木系学生が参加した。

当該グローバルPBL期間中は、各日午前における特別講演や実演などの全体イベントに加え、各日午後は10グループに分かれた各グループで活動を行った。グループ活動では、テーマである“日本、タイおよびベトナムに共通する自然災害(豪雨災害等)から社会を守る防災・減災技術”を各グループ内で共有・議論した。その成果を披露するために開催された最終発表会では、学生らしい斬新な発想が随所に盛り込まれた発表内容が多く、全ての参加者はグローバルを通じて土木工学が果たすべき役割を創造することができた。

全体イベントでは、タイでも日本でも有名な地盤工学者であるDr. Susit Chaiprakaikew(Kasetsart University)から学生コラボレーションに関する特別講演をいただいた。また、三信建設工業株式会社、あおみ建設株式会社、および株式会社オムテックのご厚意により、地盤改良薬剤の実演、オンライン現場見学、および地盤改良工法の実演も催された。



図2 特別講演



図3 地盤改良材の実演



図4 地盤改良の実演



図5 最終発表会の様子



図6 最終発表会の様子



図7 HUSE集合写真